

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	総合国語Ⅲ
科目基礎情報					
科目番号	0077	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科	対象学年	3		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	「新編現代文A」(第一学習社), ※古典については、プリントを配布する。				
担当教員	岡部 寛子				
到達目標					
義務教育レベルの国語力の復習と定着を目指すとともに、論理的文章および文学的文章を根拠に基づき論理的に理解する能力を育てる。漢字や語句についても、まずは義務教育レベルの復習と定着を目指す。日本人が古来愛読してきた古典を読み理解することで、日本人としての基礎的教養と多用なものの見方を身につける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	難解な論理的文章や文学的文章を正確に理解し、分かりやすく説明することができる。	難解な論理的文章や文学的文章を正確に理解することができる。	難解な論理的文章や文学的文章を正確に理解することができない。		
評価項目2	課題文や図表を踏まえて、800字程度の小論文を構成を考えて、的確な表現で、論理的に記述することができる。	課題文や図表を踏まえて、800字程度の小論文を構成を考えて、ある程度の確かな表現で、論理的に記述することができる。	課題文や図表を踏まえて、800字程度の小論文を構成を考えて、的確な表現で論理的に記述することができない。		
評価項目3	日本の代表的な古典作品を読み、その内容を正確に理解し、それが文学史的な位置づけや現代における意義を理解し、分かりやすく説明することができる。	日本の代表的な古典を読み、その内容のある程度正確に理解し、それが文学史的な位置づけや現代における意義を理解することができる。	日本の代表的な古典を読み、その内容を理解し、それが文学史的な位置づけや現代における意義を理解することができできない。		
学科の到達目標項目との関係					
MCCコア科目					
教育方法等					
概要	義務教育レベルの国語力の復習と定着を目指すとともに、論理的文章および文学的文章を根拠に基づき論理的に理解する能力を育てる。漢字や語句についても、まずは義務教育レベルの復習と定着を目指す。日本人が古来愛読してきた古典を読み理解することで、日本人としての基礎的教養と多用なものの見方を身につける。				
授業の進め方・方法	教員単独による講義中心とする。				
注意点	受講する皆さんへのメッセージ： ・みなさんの積極的な参加、発言を期待している。 ・また、理解度を確認しながら進め、シラバスの内容を変更することもある。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者は、その評価を60とする。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 史記 鴻門の会	オリエンテーションを行う。 『史記』の文学史上の位置を理解する。ここに至るまでの経緯を理解する。「一 両雄の会見」を音読し、書き下し文に直し、解釈をする。	
		2週	史記 鴻門の会	「二 沛公の危機」を音読し、書き下し文に改めて、解釈をする。	
		3週	史記 鴻門の会	「三 樊噲登場」を音読し、書き下し文に改めて、解釈をする。	
		4週	史記 鴻門の会	「四 壯士樊噲」を音読し、書き下し文に改めて、解釈をする。	
		5週	史記 鴻門の会	「五 樊噲の弁明」を音読し、書き下し文に改めて、解釈をする。	
		6週	コミュニケーションの文化(評論)	全体を音読して、全体の構成と作者の主張を把握する。	
		7週	コミュニケーションの文化(評論)	細部の読解を通し、内容を把握する。	
		8週	前期中間考査	学習事項の確認と定着を図る。 自分の学習方法の点検をする。	
	2ndQ	9週	鼻(小説)	全文を音読し、主題を考え、感想を書く。 第1・2段落を読み、内供の人物像と周囲の人々について考える。	
		10週	鼻(小説)	第3・4段落を読み、鼻の治療をするまでの内供の様子の子の心境を把握する。	
		11週	鼻(小説)	第5・6段落を読み、内供の心境を把握する。テーマを考える。	
		12週	奥の細道(古文)	「旅立ち」を音読し、俳文独特の表現に注意して、内容を把握する。	
		13週	奥の細道(古文)	「旅立ち」について俳文独特の表現に注意して、内容を把握する。	
		14週	奥の細道(古文)	「平泉」を音読し、俳文独特の表現に注意して、内容を把握する。	
		15週	期末試験	学習事項の確認と定着を図る	
		16週	答案返却	問題の解説と学習の点検を行う。	

後期	3rdQ	1週	小論文	小論文ノートに基づき、800字の小論文を書くための題材集め、構成の立て方を学ぶ。
		2週	小論文	小論文ノートに基づき、800字の小論文を書くための題材集め、構成の立て方を学ぶ。
		3週	小論文	小論文ノートに基づき、課題文の要約の仕方を学ぶ。
		4週	小論文	小論文ノートに基づき、構成を考えて、800字の小論文を書くことができる。
		5週	小論文	実際に小論文テストを受ける。
		6週	山月記 (小説)	「山月記」を音読し、冒頭の李徴の人物像を把握する。袁さんとの出会いの場面から李徴と袁さんの心情を読み取る。
		7週	山月記 (小説)	李徴の独白からなぜ李徴が虎になったかを読み取る。
		8週	後期中間考査	学習事項の確認と定着を図る。自分の学習方法の点検をする。
	4thQ	9週	山月記 (小説)	李徴の独白 (漢詩) から、次第に虎になっていく李徴の心情を読み取る。
		10週	山月記 (小説)	「臆病な自尊心を尊大な羞恥心」について考える。人間が虎になるという虚構の意味を考える。
		11週	支え合うことの意味 (評論)	全体を音読して、全体の構成と作者の問題提起を理解する。
		12週	支え合うことの意味 (評論)	第2・3段落を読み、近代化した社会の問題点が何に起因するかを理解する。
		13週	支え合うことの意味 (評論)	第4・5段落を読み、なぜ「支え合い」が自己存在の意味に通じるのかを考える。
		14週	支え合うことの意味 (評論)	全体を振り返り、近代的な社会の問題と「市民」のあり方について、筆者の主張をまとめる。
		15週	期末試験	学習事項の確認と定着を図る
		16週	期末試験の解答	答案返却

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用語の意味や内容を説明できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	

